



カサゴの赤ちゃん、芦屋の海で大きくなあれ

11月22日・24日 芦屋港活性化稚魚放流事業

山鹿小学校5年生児童を対象にした稚魚放流体験（主催：芦屋港等海釣施設運営協議会、共催：公益財団法人日本釣振興会）が、芦屋港で行われました。これは、「魚を増やす活動」を通じて、魚釣りに対する興味を深めるとともに、今後海釣施設が整備される芦屋港に関心をもってもらうため企画されたものです。当日は、カサゴの稚魚 4000 匹が芦屋港で放流されました。また、環境学習の一環として、海岸清掃やSDGs カードゲーム学習が行われました。



自然災害はいつも突発的。日頃から訓練し、備えましょう

11月20日 芦屋町地震津波避難訓練

自然災害は突然起こるもの。特に地震は予測できません。芦屋町では大地震発生・大津波警報発令時の訓練を学校や公共施設、役場などで同時に行いました。今回の参加者は 1200 人を超える規模になりました。地震発生時は、低い姿勢で、頭を守り、揺れが収まるまで動かないなど自分の身を守るシェイクアウト訓練に始まり、津波到達前に高い所への避難を実際に行いました。避難所となる総合体育館や一時避難施設となる航空自衛隊芦屋基地では、防災資材の展示見学やテントの設置訓練を行いました。



さまざまなものに思いやりを持ってほしい！

11月29日 芦屋中学校×卒業生・大橋岳さん

「ようこそ先輩」で野生チンパンジーの研究者大橋岳さんの講演が行われました。アフリカのギニアなどでチンパンジーを研究し、人と比べることで生物としての人間を知ることができるとのこと。経済のグローバル化により、チンパンジーの生活する森が失われており、地域住民による過度な焼き畑の拡大だけでなく、日本を含む先進国などによる開発が与える影響の話があり、それらを軽減するための取り組みなどの紹介がありました。大事なことは「さまざまなものへの思いやり」「思いやりが改善策を考える元になる」と話しました。生徒会長の高戸雄翔さんは、講演後、「チンパンジーが文化を伝承していて驚いた。リユース・リサイクルなど4Rも実践したい」と感想を述べました。



ハロウィンパーティーは家族で屋外映画

10月31日 第二緑ヶ丘ドライブインシアター

自治区の祭りができなかったからと、第二緑ヶ丘でドライブインシアターが開催され、30台の自家用車が集まりました。3密を気にしなくてよい車の中はさながら個室の映画館のよう。カラフルに仮装した子どもたちから配られたやきそばを食べながら、巨大スクリーンとFMから流れる音声で最新映画を楽しみました。



芦屋で宗像フェス！エンターテインメントとSDGsの融合目指す

11月7日 宗像フェス ARTS for the future

宗像フェスがあしや夢リアホールで開催されました。「海を守る環境活動」「未来のアーティストの応援」「高校生の夢の実現」をテーマとしており、環境活動として芦屋海岸や柏原海岸の漂着ごみの清掃活動を行った後、あしや夢リアホールに移動し、HKT48を始めとするアーティストを交えたプログラムが開催されました。フラワースマイルプロジェクトでは高校生の弾ける感性で花を生け、海を守るフォーラムでは漁師の吉田博さん（山鹿）がプラスチックごみの問題を訴えました。芦屋町観光大使のハジ→さんも出演し、バックダンサーとして登場した高校生の中には、石田陽土さん（浜口町）と川浪結菜さん（船頭町）の姿も。ハジ→さんは最後に、町制施行130周年の事業として再録音してくれた「芦屋サンバ」で盛り上げてくれました。

